

『神の愛』

～私が道、真理、いのち～

ローマ 8:27～39

私たちは何のために生まれたのでしょうか。それは神様に愛されるためです。神に愛されていると知っているからこそ、神、自分、隣人へと愛する事ができるようになります。聖書に出てくる人物(ペテロやマグダラのマリア…)を見ても、愛されている事の大きさを知った後、生き方が変わりました。失敗を繰り返したとしても、神の愛は変わることがないと知りました。愛を失うと何を失うのでしょうか？希望、自信、目的、喜び・・・愛を失うと人間が生きていくうえで必要なものを全て失ってしまいます。自分の使命も愛を失っていけば失ってしまいます。それは愛の関係でしか見られないからです。そして神の愛を知った者はどのような道を歩むのでしょうか。たとえあなたが今どんな状況(弱い、偽る、喜べないなど)でもいいのです。神に出会う前多くの方がそうでした。だからイエス様が十字架に架かり、そこに愛があるのです。イエス・キリストの愛に近づくと、道が見えてきます。その道を進むとき、同じ進むのであれば、できれば広くて進みやすい最短の道を進みましょう。それがイエス・キリストの道です。道を通して初めて真理が見えるのです。愛がわかっていないと真理の道がわかりません。こうして真理を知ると、いのちを知るのです。私たちはこの3つをつかまなくてはなりません。もし何か欠けているとしたらあなたは今どこが欠けていますか？もし今自分に救われているという確信がないなら、愛から離れているかもしれません。私たちの歩むべき道から離れないために以下のポイントに注意が必要です。Ⅰ：私たちに敵対するものは何もありません(ローマ8:31) 敵の戦略は私たちの歩む道を惑わし、逸らすようにします。もし今問題によって自分を失っているならそれは道を失っているかもしれません。「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこからは行って行く者が多いのです。」(マタイ 7:13) 選ぶのはあなたです。誘惑に負けないで下さい。Ⅱ：私たちに与えられないものはありません(ローマ8:32) 使命を全うするために必要なものは与えられます。与えられないのは自分のために求め、神の愛から離れている可能性があります(ヤコブ 4:3)。Ⅲ：誰が私たちに訴えるのでしょうか(ローマ8:33) 悔い改めをしたら、完全に赦されることは聖書の原則です。従って訴えられるのは、私たち自身が悔い改めていないからです。いつまでも繰り返し自分を変えようとしめないのも、悔い改めていないことになります。Ⅳ：罪に定めようとするのは誰ですか(ローマ8:34) 私たちは悔い改めたのであれば罪に定められません。自分を含め人を罪に定めようすることは敵と同じ事をしていきます。敵は味方同士で排除し合っていますが、愛を知っていれば、互いを罪に定めることはしません。私たちはこの世では艱難に合うのですが、勇敢であるように言われています(ヨハネ 16:33) しかし愛に立っていれば解決が早く、2度と繰り返さないはず。私たちは①キリストの愛の大きさを知る事ができます(エペソ 3:14～21) 私たちの行動は愛に根ざしていますか。人はその中に愛を見出した時、初めて変わることができます。神の愛を決め付けしないで下さい。私たちが知った神の愛はどれほどのものなのでしょうか。神の愛に限界はありません。もっともっと広さ、長さ、深さ、高さを感じてほしい、知ってほしいのです。神の愛を知る方法は1つです。神と交わることです。そして②愛は強いのです。どんな困難があろうとも神の愛には勝てません。愛には恐れがないのです(1ヨハ 4:8) ですから神の愛による基準で物事に対応していけば、すべて解決します。解決できないのはあなたの愛が弱いからです。③はじめの愛をいつも感じている必要があります(黙 2:2～5) はじめの愛が肝心なのです。今あなたが苦しいのであればこの愛を忘れている可能性が高いのです。イエス・キリストが救い主だと信じたとき、あなたはどんなだったでしょうか？神様は私たちの問題や苦労をよくを知っています。労苦や忍耐と戦った人に起こりがちなのは、自分に信仰がなくなってしまうことです。ある時から神の愛から離れてしまったのです。もしそうならどこから神の愛を落としてしまったのか思い出し、悔い改めてそこからやり直さなくてはなりません。はじめの愛から離れていては何をしても意味がありません。初めの愛から離れた奉仕などないのです。それは作業や仕事となり、苦痛に感じていきます。初めの愛を感じた時から歩み出した“いのち”への道から逸れていませんか。どんな状況下であっても、神に愛されていることを感じましょう。それが一番に感じてほしいものであり、感じつけてほしいのです。あなたは愛されています。だからはじめの愛に戻しましょう。イエス・キリストの本当の愛を知りましょう。

